



外国出張報告書

平成 26 年 4 月 18 日

1. 出張国名 ラオス
2. 出張月 平成 26 年 3 月
3. 出張目的 ラオス農山村における未利用資源の探索と魚類養殖餌料活用 : C

4. 成果の概要

前回の出張後、野外の雌成虫がトラップに誘引されて産卵することで、ミズアブ幼虫は継続的に飼育されていた。また、これまで餌として使用していた鶏糞にジャックフルーツを加えることで餌の状態は改善された。ノンテン周辺では、ミズアブ成虫が乾期の 12、2、3 月にも現れトラップに産卵したことから、成虫は年間を通して野外に存在することが示唆された。年間を通した卵の供給に向け準備を行った。さらに、村で利用できる幼虫餌の候補として、稲わらで作ったサイレージを試すこととした。